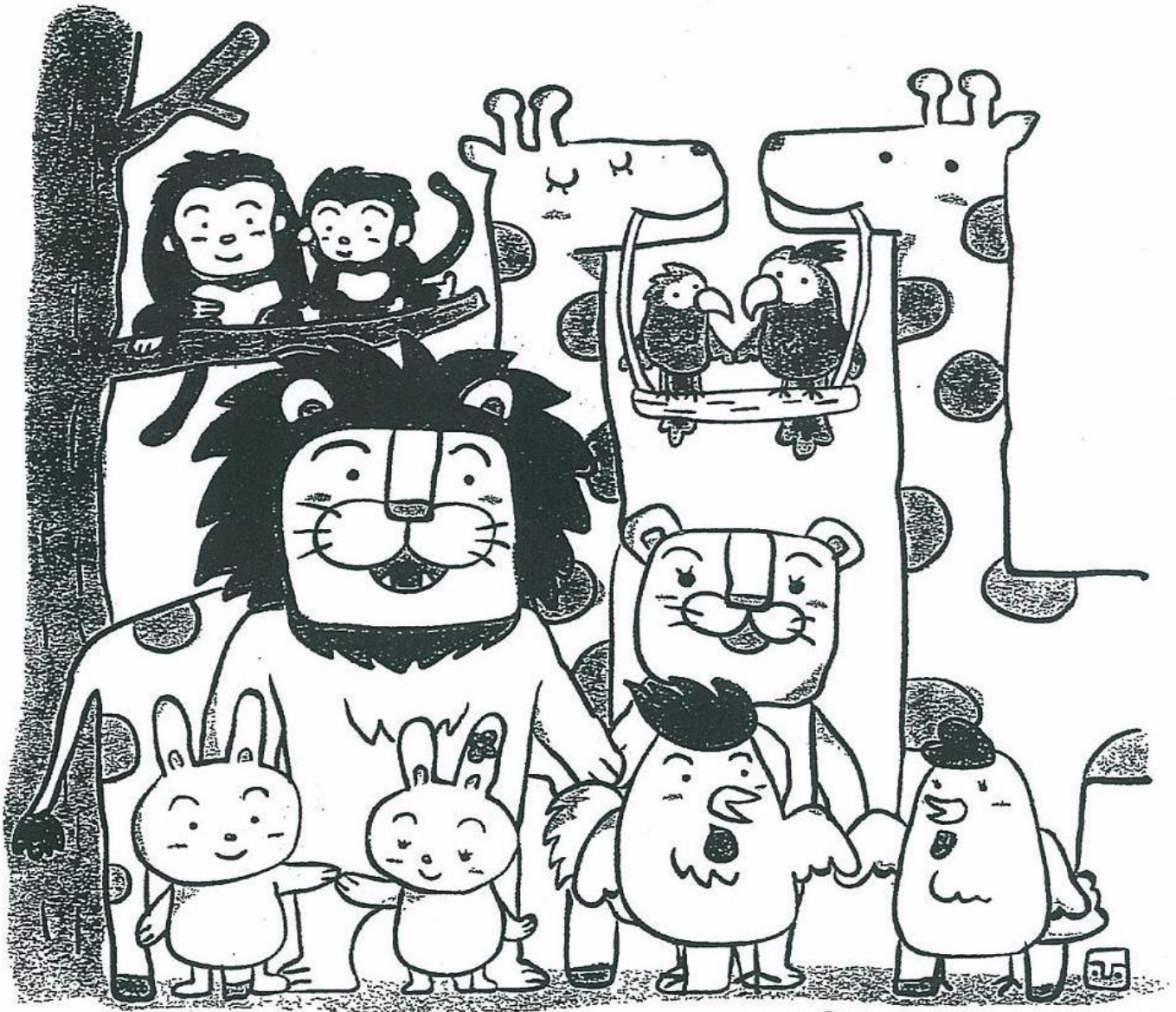


さわやか

— 男女共同参画社会を目指して —

— 第23号 —



Copyright © 2003 morinokujira all rights reserved

イラスト/「森のくじら」たなべひろし
<http://www.morinokujira.com>

2025年度 発行

さわやか佐久穂町ネットワーク

佐 久 穂 町

視察研修

研修で熊谷市にある荻野吟子記念館に行ってきました。

荻野吟子は日本人初の国家資格をもった女性医師です。

自分が婦人科を受診したときに治療医師がすべて男性であり、その屈辱的な体験から羞恥に苦しむ女性を救いたいと医師を志します。まだ女性医師がいなかった1870年ころの時代、女性の立場で医師を目指すことの困難さは容易に想像できます。当時の夫からうつされた淋病が原因で夫から離婚を告げられたそうです。夫自身の病気を妻のせいにし離婚を告げられ、その上、体も蝕まれるなんて理不尽すぎて大変悔しい思いをしたと思います。女性が医師になるということは前例がなく医師の試験、学校等まわりからも嫌がらせをうけます。悔しい思いをし、辛い思いをしながらも支援者も現れ志を強く持ち続けます。たくさんの壁が立ちちはだかる中、女性を救いたいという意思を強く持ち続けます。

記念館では紙芝居で吟子の生涯をわかりやすく説明していただき、当時の医学書、什器、映画化されたときの衣装が展示してありました。実際に記念館に足を運ぶことで吟子の生涯に思いを馳せることができます。その中で生涯の年表をみていると困難の中、前に進んで生き抜いていく強さ、を感じることができます。

吟子は婦人解放運動等の社会活動を担い、女性の地位向上の普及にも大きく貢献しました。

1人の女性の生涯から思いを巡らせ、昔の話で終わらせず学ぶことはたくさんあると思います。吟子が経験してきたことと同じように、現代でも同じように、前例がないことに対し戸惑い、それが攻撃になること、自分にはない考えを否定し人を傷つけるような行為はよくあります。

吟子が生きていた時代より男女平等社会、女性も活躍する社会にはなっていますが、女性活躍といっている時点でまだ男女間に差があるのではないのでしょうか。男女が全く同じにキャリアを積み重ね活躍できるかという点と出産等性別での状況の違いはもちろんあると思います。性別関係なく、志ある人が不利になることなく活躍できる環境を作ることが大事で、まずは性別の違い、自分の考えにないことも含めお互いの理解を諦めない、吟子のように皆がたゆまぬ努力をしていかなければいけないと思いました。



総会・研修会

令和7年5月10日(土)「第26回さわやか佐久穂町ネットワーク総会」を、茂来館 中会議室で開催しました。令和6年度の事業報告・決算報告、並びに令和7年度の事業計画(案)・予算(案)が承認され、令和7年度の活動方針が決定しました。

総会後には、長野県男女共同参画センター あいとぴあから借りたDVDを視聴しました。テーマは、「映像で学ぶジェンダー入門 男らしさ/女らしさ 社会を覆うジェンダー・ステレオタイプ」で40分程度でした。視聴した後、グループごとに分かれ、意見交換を行いました。

男女共同参画推進セミナー

今回のセミナーは、NPO 法人「ファザーリングジャパン信州」立ち上げメンバーである丸山宏尚氏のお話を聞きました。

まず、これから先、人口減少していく佐久穂町で地域の現状を踏まえて暮らし方、働き方、地域とのかかわり方を再構築していくときである。

また、地域とのかかわり方、地域での役割分担など、「今、自分は何ができるのか。」という考え方を持つことで地域も環境も変わっていくのではないかとっておられました。

地域と人と深くかかわってこられた丸山さんだからこそその助言だと受け止めました。

家庭においても、「今、自分は何ができるのか。」という思いをもっていれば、男性・女性を問わず、家事にも、育児にも自然に協力的になっていくのではないかと思います。

そして、育児において、今までよく言われた「育メン」は死語となり、今は「共(とも)イク」と言われているそうです。

父親が育児に関わることで期待できる効果

- ① 父親が子育てに参加するほど、子どもの自尊心が高まる
- ② 父親と多くの時間を過ごした子どもは、IQが高い
- ③ 父親と多く会話するほど、言語能力が発達する

という統計があるそうです。

父親が育児に協力することで、子どもの成長にも役立つということだそうです。

妊産婦のマタニティブルーの対策についてもお話しされ、周囲の協力、夫の理解が1番重要だということでした。驚かされたのが、妊産婦の1番の死因が、自殺ということでした。いかに周りのケアが大切かということです。

私たちの生活の中で、何気ない雑談がお互いを理解する手立てであること。とにかく雑談をしましょうと言っておられました。

終わりに、丸山先生のお話、多くの男性に是非聞いてほしいと強く思いました。もっと男性に声掛けをすればよかったと反省しております。



人権フェスティバル

人権フェスティバル in 佐久穂の冒頭はコーラスフィオレンテによる合唱、続いて、私も出演したさわやか佐久穂町ネットワークによる「寸劇・これからふたりで～定年からの共同参画～」。

寸劇では、当日参加できないメンバーも練習に加わってくれたので励みになりました。

人権作文は佐久穂中学校7年の小宮山直史さんによる「障害者と向き合って」、大日向小学校6年の岩本ふうあさんによる「私が考えるラブ&ピース～大日向小学校で見つけたもの～」。

そして佐久穂小学校5年1組による「自然な助け合いを目指して」の人権発表が行われました。

講演会は、お笑いタレントなだぎ武さんの『サナギ』講演会。テーマは「いじめを乗り越え、明るい未来をつかみ取る方法」。

中学生のとき、太った体をからかわれ、徐々にいじめに発展。親や学校に相談することでのエスカレータを恐れ我慢する中、担任はかばうどころか、あおる始末。絶望し、3年間の引きこもりとなる。映画「男はつらいよ」に魅了され、それが吉本養成所に入るきっかけになったそうです。



さわやか佐久穂町ネットワーク会員募集中！！

★ネットワークの目的は？

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、社会の対等な構成員として職場、家庭、地域、学校などあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、性別による固定的な役割分担意識にとらわれることなく、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目的としています。

★どんな活動をしていますか？

- 町内外の研修・視察
- あいとびあ（岡谷市：長野県男女共同参画センター）等での研修
- 県男女共同参画フェスティバルへの参加
- 町人権フェスティバルの後援及び積極的協力
- その他、目的達成に必要な事業

★申し込み・問い合わせ先：

- * 年会費500円をお支払い下されば、町内成人男女どなたでもご入会いただけます。
- * 佐久穂町役場 住民税務課 人権政策係 Tel 86-2525